

公益事業「3.11 あの日を忘れない 東日本大震災」

四季の自然によりそって…小網代の森を写す

30年の写真展

神奈川県三浦半島の先端、相模湾に面したリアス式の入り江と谷、それが「小網代の自然」です。標高約 85m の台地からいくつもの小さな川が刻んだ谷、深い森、広々とした湿地、大きな干潟、そして南国の香り漂う湾。頂点から相模湾外洋まで約 3km、森と湿地と干潟と湾とを川が結ぶ、ひとつの流域がまるごと自然のまま残された、きわめて貴重な自然です。

今回、「小網代の森と干潟を守る会」の協力により、広く三浦半島市民に小網代の森を知っていただくため、30年間の小網代の森の自然を写し続けてきた加藤俊彦氏の写真を中心に活動資料などを添えて展示します。

現在、森の湿地回復作業や森のガイドは、NPO法人小網代野外活動調整会議が行っています。

・期間:2015年3月9日から13日(10:00~17:00)

・場所:(公財)横須賀三浦教育会館 2Fホワイエ

*「小網代の森」自然かんさつ会…参加者募集

- 日時 3月26日(木) ・定員 20名 ・参加費 500円 雨天実施
- 集合 10:00 三崎口駅前(トイレがありませんので駅で済ませてください)
- 解散 14:00ごろ現地解散
- 持ち物 弁当、飲み物、手袋、お持ちの方は双眼鏡など。
- 申し込み…横須賀三浦教育会館…TEL046-824-0683、月~金(9:00~17:00)



主催 (公財)横須賀三浦教育会館 協力 小網代の森と干潟を守る会